

# 二 般 質 問

市政全般の問題をただす一般質問は、9月6日、9日、10日、11日に行われ、15人の議員が100項目に及ぶ質問をしました。その主なものは次のとおりです。

## 不妊治療への助成について



【大嶋議員】男女雇用機会均等法の定着による就業率の増加等、女性も社会で活躍する機会がふえ、晩婚化が進んでいる。その影響による高齢出産もふえ、不妊に悩む夫婦が大変多いと聞く。国は、不妊治療の支援対策として、平成16年度から年収730万円未満の夫婦に対し、5年間で10回まで、1回につき最大15万円の補助を行っている。各自治体でもこの制度に上乗せし、1回に5万円、国と同回数の助成を実施しているところがふえている。県内では、29市町村が助成しているというが、本市では助成を行っているか。

【健康増進部長】実施していない。【大嶋議員】なぜ、実施されなかったのか。

【健康増進部長】本市としては、平成20年度から小児インフルエンザ予防接種の実施や平成21年度から妊婦医療機関委託健康診査事業を拡充することを優先して進めてきたところである。

【大嶋議員】本市としては、今後国の制度に上乗せする助成制度を導入するのか。

【健康増進部長】これからの少子化対策等の一環として、現在本市が実施している数多くの妊産婦支援や育児支援事業に加えて、不妊治療費助成制度を実施することが



## 地域医療再生計画について



【田中議員】7月の全員協議会での機能分担の説明以来、桜川市との調整がうまくいっていないのか。

【市長】桜川市に機能分担の方法もあると、担当部長が説明を行った。副市長と市長公室長が対応したが、市長同士で会うことが大切だと要望があった。その後、会議等で桜川市長と四、五回話をし、正式に会ってもらえるよう要望しているが、その返答がない。

【田中議員】桜川市では、機能分担について議論になっているのか。

【企画部長】その後、桜川市内部の協議についてはつかんでいない。

【田中議員】県西総合病院の組合議会で、県西総合病院の建てかえの発言があったというが、どうか。

【市長】本市の事務方に何の連絡もなく、7月29日の組合議会で、建設委員会をつくりたいと、突然の話があった。これに対し、新中核病院が進まないのに建てかえる

より効果的な支援につながると考える。他の事業と財政状況を十分考慮して、助成実施を検討していきたい。

ことはいかなるものか、新中核病院と一体感をもって話をしたいと返答した。

【田中議員】市長は6月定例会で、新中核病院を市単独で決める前に、別の考えがあると答弁した。それは、機能分担のことか。

【市長】機能分担も一つの最良の方法と考えている。

【田中議員】特例交付金の期限が切れてしまったら、その後の財源の確保はどうなるのか。

【市長】特例交付金の活用が第一と考えている。しかし、例えばの話だが、合併債や一般会計を使って次の手も打ちたいという気持ちでやっている。



筑西市民病院（上）と県西総合病院（下）

## 敬老金券の利用範囲拡大について



【仁平議員】長年にわたり社会の発展にご尽力いただいた高齢者を敬愛し長寿を祝うため、市内

318事業所で使用できる敬老金券を支給しているが、食料品や日用品の購入が多く、非常に偏った使い方をされていると伺っている。

【福祉部長】平成24年度の敬老金券の換金状況を見ると、小売業が91.8%、飲食が5.6%となっている。

【仁平議員】敬老金券を予防接種や医療費の支払いにも使えるよう利用範囲を拡大してはどうかと考える。そこで、日本人の死因の第3位である肺炎の発症を予防する肺炎球菌ワクチンの接種率及び接種費用はどれくらいか。

【健康増進部長】国立感染症研究所のデータによると県内市町村の平均の接種率は概ね25%である。接種費用は、市内の病院等によってばらつきがあるが、平均で一人一回につき約8千円である。

【仁平議員】本市で、今年の10月から65歳以上の方を対象に実施する高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種の助成は、一人生涯一回に限り3千円であることから、これと敬老金券を組み合わせることにできないか。

【福祉部長】真壁医師会筑西支部に議員からの提案を説明しており、医療機関の敬老金券取扱店への登録等について検討していただけたことになっている。

【市長】敬老金券は幅広く使えるべきであると考えており、議員の提案に賛成である。



敬老金券取扱店ポスター

## デマンドタクシーについて



【尾木議員】市は交通弱者等対策として、デマンドタクシー事業に取り組んでいるが、その状況はどうか。また利用者の苦情には、どのように対応しているのか。

【企画部長】お尋ねのデマンドタクシー「のり愛くん」の運行は、協同組合日専連しもだてに業務委託している。のり愛くんは、事前予約による乗り合い型公共交通であるため、利用者宅を経由する相乗り運行となっている。総額約7千万円の事業で、運賃収入は約1千万円、差額の約6千万円を市

が補助している。平成24年度の年間利用者数は3万7,266人、運行日数は240日、1日平均約155人の利用で、過去3年間同様に推移している。利用者からの苦情は、予約電話がつかない、オペレーターやドライバーの接遇が悪い等の声が寄せられており、事業者等に連絡し、改善に努めている。

【尾木議員】のり愛くんは、夜間・休日の運行ができないこと、利用者の多くが高齢者であること等を考えた場合、必要なとき自由に使える福祉タクシーへの補助事業として検討しても良いのではないか。

【企画部長】この事業は、交通弱者や公共交通利用不便地域対策として市の基本計画に位置づけされている。今後は、本市のより望ましい公共交通体系のあり方について、専門家を交え、調査研究したい。



のり愛くん

## 市民病院の医師確保について



【内田議員】平成26年度以降、寄附講座による医師派遣の内定が得られれば、市独自で寄附講座の予算計上をしていくと答弁している。医師確保の状況を伺いたい。

【病院事務部長】日本医科大で見込みがついているのは形成外科であるが、他の診療科についても前向きに検討するという返答を得ている。自治医科大からは、なかなか難しいという感触を得ている。しかし、同大学では寄附講座の研究テーマに重きを置いていることから、本市の地域医療連携という新たなテーマを地域医療学の主任教授にも示し、寄附講座継続の要請活動をしている。自治医科大学附属病院長にも内科医の派遣等について相談している。また、県からは、平成26年度・27年度においても財政支援の可能性を示していただいた。

【内田議員】なぜ、医師確保を質問するかというと、平成26年度の予算を組むに当たって、寄附講座の5名分を入れて常勤医8名体制の医師確保が前提となつて医業収益が考えられる。ところが、医師

確保ができていないとなると、収益を上げることが至難のわざである。市民病院は今までにない環境に置かれている。もう少し何か方策を考えないと、経営形態の変更の話どころではない。そういった認識はあるのか。

【病院事務部長】日本医科大学では、理事長や人事担当理事から前向きな回答を得ている。また、自治医科大学では、総合診療医だけでなく、内科医についても、附属病院長に要請し、プラスの方向で回答をいただいている。



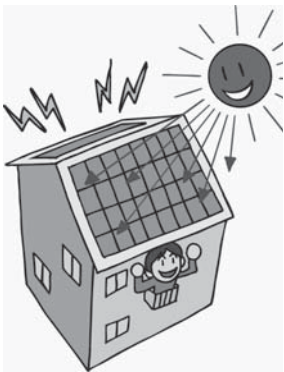
市民病院待合室

## 自治体とソーラー発電について



【小島議員】ソーラー発電はまだまだ未熟であるが、発電量や費用

の面において現実的になってきているのも事実であり、夢はふくらみ、希望が持てる。自治体が自然エネルギー発電と向き合うことについてどう考えるか。



【市長】本市においては、市総合計画後期基本計画の施策「循環型社会の形成」の中に、「再生可能エネルギーの普及促進を掲げており、その方向性にとつて今後の取り組みを進めてまいりたい。

【小島議員】本市において、全国に先駆けてメガソーラーシステムによるモデル地区を作り出せないものか。私の試算では100世帯の集落の電力需要は約1ヘクタールのソーラーパネルで賄うことができ、電気の地産地消にもつながると思われる。

【企画部長】固定価格買取制度により電力会社が再生可能エネルギーを買い取る場合には、買い取り価格を一般家庭の電気料金に上乗せするということも含め、総合的な観点から勘案すべきと考える。

【小島議員】ソーラー発電には大きな可能性があると思う。県西生涯学習センターに隣接する市保有地を活用してはどうか。

【企画部長】生涯学習センターを

誘致する際に文化的な施設の整備を前提としたことや、筑西地方拠点都市地域基本計画の中で（仮称）文化村の整備を位置づけていることもあり、教養文化施設以外の活用は難しいと考えている。

## 小・中学校のトイレについて



【真次議員】小・中学生の自宅のほとんどが洋式トイレになってい

るため、学校においても和式トイレを使用する子供が少なく、洋式トイレに集中するため、授業の開始時間に間に合わない場合があると聞いている。小・中学校における洋式トイレと和式トイレの割合はどのようになってきているのか。

【教育次長】これまでにトイレ環境改善工事を実施し、現在では、全体でおおむね半数のトイレが洋式化されている。

【真次議員】市内27の小・中学校全体で、洋式トイレの個数がおおむね半数ということか。

【教育次長】1個、1個というトイレの個数ではなく、校舎ごとのトイレ系統の数及び割合である。下館小学校を例にとると、南校舎は1系列で全部洋式、北校舎は2

系列で一方が洋式、もう一方が和式となっている。

【真次議員】学校によって改善状況は違うということか。家庭での洋式トイレの普及状況及び学校での和式トイレの使用状況等を考えると、洋式トイレの設置割合が80〜100パーセントとなってもよいのではないか。今後の改善策について聞きたい。

【教育次長】本年度は、市内の小・中学校のうち数校で、耐震補強・大規模改造工事とあわせてトイレ環境改善工事を実施しており、平成26年度以降も同様に実施していく計画となっている。



トイレ環境改善工事（実施後）

## 筑西幹線道路、中島・西榎生線の進捗状況について



【増淵議員】新聞報道では日野自動車の古河市移転が2年前倒しに

なるようだ。これに関連し、本市が重要施策として進めている筑西幹線道路整備の状況はどうか。

【土木部長】お尋ねの筑西幹線道路は、都市計画道路一本松・茂田線として整備を進めている。現在、県道石岡・筑西線と下館ゴルフ倶楽部入口（A区間11420m）は既に供用開始済みである。下館ゴルフ倶楽部入口と県道筑西・つくば線（B区間11420m）は1010m完成。県道筑西・つくば線と小貝川左岸（C区間11000m）は3200mが完成。小貝川新橋は県が施工し、2基の橋脚等が完成。小貝川右岸と下館駅南線（D区間11300m）は本年度の用地買収と一部工事を予定している。このC・D区間は小貝川新橋の完成に合わせて平成27年度、またB区間は平成29年度の完成を目指している。工事全体で50・9%の進捗である。

【増淵議員】道路整備には用地買収や財政面で多くの問題があるろう。市民生活や人口減少対策としての企業誘致には、この幹線道路整備は欠かせず、早期完成を望むものだ。次に、筑西幹線道路につながる中島・西榎生線の進捗状況について聞きたい。

【土木部長】中島・西榎生線は筑

西幹線に接続する計画から、筑西幹線のC・D区間が完成する平成27年度の完成を目指している。



筑西幹線道路、中島・西榎生線計画図

## 通学路の安全確保について

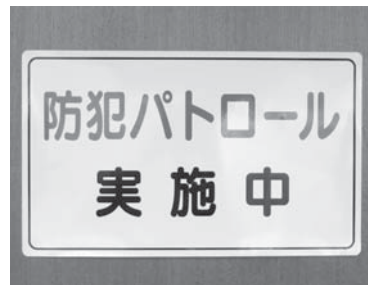


【石島議員】通学路の安全確保といえば、交

通事故等につながる危険箇所や安全確保の問題と、防犯上の問題がある。8月には三重県四日市市の中学3年生の女子生徒の痛ましい事件があった。本市では、大きい事件こそないが、通学時や放課後に不審者が出没して、児童生徒の安全が憂慮されている。未然防止策として、不審者情報の提供とこれを受け取る保護者や市民の関心の高さが重要である。そこで、不審者の発生と不審者情報の配信状況について、次に情報メー

ル一斉配信サービスの登録者数の推移について、さらにマグネット式の防犯プレートの普及と配布状況について伺いたい。

【教育次長】初めに、不審者の発生状況と不審者情報の配信状況は、青少年事故未然防止事例通知の件数により報告すると、平成24年度の不審事案は年間20件。その内訳は露出3件、追いかけて4件、体を触られる3件、声かけ6件、不審電話1件、因縁等を含むその他が3件である。今年度は8月末まで12件である。次に、情報メール一斉配信サービスは、平成21年2月に開始され、平成23年度末で2,040人、平成25年3月末に3,723人が登録している。次に、防犯プレートは、合併時に作成し、市内小中学校を通してPTA関係者、青少年相談員等に配付した。現在は、破損等による交換で対応している。



マグネット式 防犯プレート

## 新中核病院の公約の確認、2市協議の行き詰まりの原因と打開策について



【三浦議員】新中核病院に対して多くの市民から心配の声を聞く。市長は、新中核病院を建設するという公約を掲げて当選したが、現在の案は、建設と機能分担による市民病院の再整備と、一体どちらなのか、あるいは両方なのか。新聞では建設断念の報道があった。市長には説明責任があるのではないか。

【市長】新中核病院整備に関する信念として、当初の公立2病院の再編成による300床。これは確信を持ってやっている。しかし、桜川市に再三再四拒否されている関係上、どうしても交付金を確保するため、機能分担を考えた。断念という言葉が発したことはない。

【三浦議員】ならば、「新中核病院を断念していません」と、しっかりと説明すべきではないか。

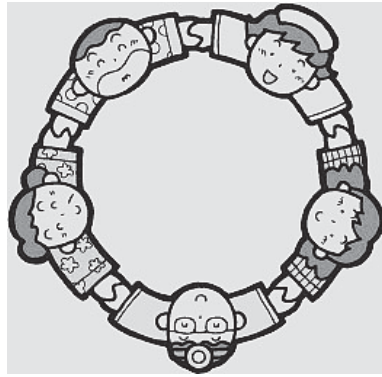
【市長】何らかの方法で説明したい。

【三浦議員】桜川市との協議が行き詰まっている原因は、行政の利害の立場で話し合っているからである。しかし、実際にやるべきことは、医療の立場で医療整備をすることである。地元の医療に一番

【津田議員】学力テストの結果公表は、学校ぐるみの不正を招いたり、学校に順位をつけ、成績の伸び率に応じて学校予算が配分されたなどということを知り、学校の比較対象として

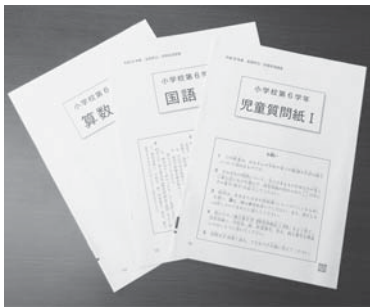


## 全国学力テスト結果について



詳しいのは、地元の医師会である。「機能分担・連携」は医師会に難色を示されている。オール筑西として進めるためにも、やはり、医師会と話を進めていかななくてはならないのではないかと。【市長】建設推進会議を立ち上げ、その中でいろいろな意見を聞くとして。また、地元医師会の先生方には、随時相談をしながらやっていきたい。

適な資料であり、結果を公表することにより、競い合う力、負けん気、努力等が培われ、このような力こそが学力向上につながると思われる。本市において、保護者への結果報告はどのように行われているのか。また、本市の平均値と県の平均値とを比較してどのような考えを持っているのか伺いたい。【教育長】全国学力テストには2つの面があり、正式には「全国学力・学習状況調査」という。保護者等への結果報告は、その実施要領に基づき、各学校が発行する「学校だより」により行う。県平均値と比較した場合、学力については、小学校国語は上回っており、算数は若干下回っている。また、中学校国語は下回っており、数学は上回っている。学習状況については「自分はやればできる」や「人からよく見られている」などという自尊心は県・国を上回っている。



全国学力・学習状況調査票

一方で、新聞を読んでいる生徒が少ないことや、学校図書館司書教諭の配置が十分でないことが課題となっている。いずれにしても、学力は子どもが置かれている家庭環境及び学習環境に連動することから、学力テストよりも学習状況調査の方が非常に重要であると考えている。【加茂議員】国民健康保険税が高くて納めきれないという切実な相談を多くの市民から受けている。今後の国保税の見直しについてどのように考えているのか。【健康増進部長】本市の財政状況や近隣市町村の状況、政府が進める社会保障と税の一体改革における国民会議の動向などを総合的に判断したうえで、市国民健康保険運営協議会にはかり、平成25年度中に決定する計画で進めている。【加茂議員】非正規労働者や年金生活者など所得の低い人たちの国保への加入がふえていると思われるが、全加入者に占める割合はどのようになっているのか。【健康増進部長】制度上、会社等

## 来年度の国民健康保険税について



【加茂議員】国民健康保険税が高くて納めきれないという切実な相談を多くの市民から受けている。今後の国保税の見直しについてどのように考えているのか。

を中途退職して加入する方が多く、負担税力が低い所得者の占める割合が多くなっている。このため滞納が多く、平成25年8月30日現在の滞納者は4,433人、滞納額は15億円以上となっている。【加茂議員】現在の厳しい景況や低所得者・失業者の状況及び滞納の状況を考えた場合、国保税の引き上げは、滞納者の増加・税率の引き上げという悪循環を招きかねないと思われるので、国保税の見直しは行わず、むしろ引き下げを強く要望する。【健康増進部長】医療費の高騰や国保事業の厳しい運営状況などを踏まえ進めてまいりたい。今後、市国民健康保険運営協議会を数回開催する予定なので、ご意見をいただきたいと考えている。



## 災害時の対応と対策について



【箱守議員】 8月20日夕方の大雨で川島地区では1時間に66ミリの記録的な豪雨となった。水戸線も川島駅で停車して、厳しい状況であった。当日の夜、その翌日も市長は現地を視察され、感謝したい。担当課も対応され、地域住民は安心できたことと思う。そのような中で、大雨のときの状況とその対応について伺いたい。

【土木部長】 当日、就業後であったが、川島地区の方から電話があった。土木部においては、土木課職員3名、道路維持課職員6名、私を含め10名で現地に赴き、状況確認をした。また、当日確認できなかった部分は翌日に実施した。その結果、側溝の柵に開いたビニール傘があったほか、碎石や汚泥がたまった箇所があり、流水を阻害していた。そのため、側溝清掃の所管課に連絡した。

【市民環境部長】 市民環境部としては、翌日に消毒と道路側溝清掃の要望があったため、川島自治会と小川下自治会の役員の方に立ち会っていただき、被害状況を調査、確認した。その結果、床上浸水が

8件、床下浸水が10件であった。家屋の消毒は8月22日と23日で実施した。道路の側溝清掃は、川島駅前通り、川島児童公園付近、小川地区の一部の3カ所を8月29日、30日、9月2日に分けて実施した。なお、今回の床上浸水は、すべてが店舗兼住宅の店舗部分の床に雨水が浸水したもので、住居部分の浸水はなかった。



被害家屋の消毒作業

## 学校給食について



【稲川議員】 今後、下館学校給食センターが整備され、市内全校の給食が自校方式からセンター方式に移行する。そのメリットとデメリットについて伺いたい。

【教育次長】 センター方式のメリットは、食材物資の調達コストが安価となるほか、光熱費等の軽減が

図れる。デメリットは、調理時間の制約と配送費用が必要なことなどである。自校方式のメリットは、調理食材が少量のため地元食材の調達が容易である。デメリットは、食材の調達コストが高くなるなどである。

【稲川議員】 センター方式になると、食材の調達方法は変わるのか。【教育次長】 新しい下館学校給食センターの食材調達は、一括購入を考えている。調達方法は、地産地消等も考慮していきたい。【稲川議員】 給食費の月額について、地区によってばらばらというが、市の補助についても伺いたい。

	小学校	中学校
下館地区	3,700円	4,100円
関城地区	3,900円	4,400円
明野地区	3,900円	4,200円
協和地区	4,000円	4,300円

【教育次長】 給食費月額は、市の補助は、児童1名につき4,100円、生徒1名につき4,500円の各差額を補助している。【稲川議員】 差額分を補助して、提供する食材費は統一しているということだが、合併して8年以上も経つのにおかしくはないか。

【教育次長】 新しい給食センターの供用開始に合わせ、市内全校のメニューと給食費の統一を図っていききたい。



## 地域若者サポートステーション事業について



【榎戸議員】 今、日本全国では、中途退学や仕事に就かない若者が

ふえている。厚生労働省職業能力開発局は、各県に地域若者サポートステーション事業所を立ち上げてくれと通達を出した。茨城県では、最初に水戸市が活動を始めた。次に手を挙げ、事業の選定を受けたのが、浅沼さんが代表を務める、本市のアイネットである。県西地区は9市町ありとても広いが、5人のメンバーのほか、9人のボランティアで事業にかかわっている。国から約2,300万の補助が出るが、これでは経費的に困難である。そこで、本市としての補助策はあるか伺いたい。



県西若者サポートステーション開所式

写真提供：筑西ケーブルテレビ

【**経済部長**】自立支援に向けたネットワーク構築を含めた就労雇用部分について、関係機関と連携しながら情報の提供など可能な部分について支援していきたい。

【**榎戸議員**】ことし3月の大学卒業者が56万人、うち仕事につけない人が5.5%、全国で約3万人いるという。そこに高卒や中卒の人まで含めると、本市にも、県西地区にもかなりの数がある。この若者たちをこのままにしておけば、間違いなく生活困窮者として生活保護の対象になっていく。そのため、早くそういった若者を支援する必要がある。本来は行政がやるべき仕事だと思うが、具体的な支援はいかがか。

【**経済部長**】今後の事業運営状況等を見ながら関係機関と連携を図り、総合的に判断していきたい。

## 決算特別委員会の審査から

決算特別委員会は、9月17日、18日の2日間開かれ、平成24年度の一般会計、特別会計及び企業会計における決算を審査し、いずれも認定すべきものと決しました。また、20日の本会議においても、原案のとおり認定されました。

委員会での主な審査の内容は次のとおりです。

- ◎**市長公室**
  - ・筑西市知名度アップ事業への取り組み状況と更なる事業推進について
  - ・市長交際費と市長会負担金について
- ◎**総務部**
  - ・行政改革の取り組み状況と公共施設適正配置調査結果について
  - ・臨時職員の雇用状況について
  - ・外部監査の導入について
- ◎**企画部**
  - ・各種基金の運用状況について
  - ・デマンドタクシーの運行状況について
  - ・交付税の内容と現状について
- ◎**税務部**
  - ・たばこ税の現状について
  - ・コンビニ納付の導入効果について
  - ・未納者対策について
- ◎**市民環境部**
  - ・防犯灯のLED化について
  - ・住宅用太陽光発電システム設置補助の
- ◎**健康増進部**
  - ・受付状況と今後の改善策について
  - ・健康相談24事業の市民への周知について
- ◎**福祉部**
  - ・脳ドックの推進体制について
  - ・国民健康保険税及び後期高齢者医療保険料の収納状況と未納者対策について
  - ・保育料の収納状況と放課後児童クラブの現状について
  - ・福祉相談窓口事業の現状について
  - ・介護保険の給付状況について
- ◎**総務部**
  - ・都市農村交流事業の推進について
  - ・地籍調査の進捗状況について
  - ・観光客誘致拡大事業への取り組み方について
- ◎**土木部**
  - ・道路修繕要望と予算の現状について
  - ・都市計画区域の整備について
  - ・下館駅周辺整備事業の検証について
  - ・下館駅前駐車場の安全対策について
- ◎**上下水道部**
  - ・浄化槽設置促進事業補助について
  - ・公共下水道整備の進捗状況について
  - ・農業集落排水施設の修繕計画について
- ◎**教育委員会**
  - ・理科支援員等配置事業の現状について
  - ・野球場の利用状況と用地の賃借料について
  - ・美術館の入館者数と企画展のあり方について

### ◎市民病院

- ・寄附講座の現状と今後の見通しについて
- ・病院輪番制の受入体制について
- ・薬品等の購入価格について

### 【決算特別委員会委員】

- ◎外山 壽彦 ○内田 哲男
- 小島 信一 田中 隆徳
- 稲川 新二 増淵 慎治
- 津田 修 仁平 正巳
- 石島 勝男 尾木 恵子
- 榎戸甲子夫 三浦 謙
- (◎委員長 ○副委員長)

### 市議会インターネット録画配信

筑西市ホームページで、会議映像（平成25年第1回定例会から）をご覧になれます。

#### 〈操作手順〉

筑西市ホームページの、「筑西市議会」をクリック、「議会の放映」をクリック、筑西市議会映像配信システム画面の「録画映像を見る」をクリック。

会議名や議員名などから、ご覧になりたい会議映像を選ぶことができます。

どうぞご覧ください。